

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

# みんなで作る未来型図書館

## ニュースレター vol.9

7月より対話と活動のプラットフォーム「こまつリビングラボ」がスタート。立地場所となっている芦城公園にある既存公共施設の集約・再編等の検討のほか、事業者との官民対話なども進めています。引き続き、市民・事業者の皆さんと共に未来型図書館のさらなる具体化に向けて取組みを進めていきます。

### 事業の進捗状況など

現在、基本構想に定めたビジョン・コンセプト、必要と考えられる役割（機能）について、既存施設の現状や周辺施設との連携を踏まえ、「既存施設の集約・再編」「新たに求められる機能」「民間に期待する機能」の視点から未来型図書館が担う機能の具体化に向けて検討を行っています。

既存施設の集約・再編等の基本的な考え方（方向性）については下記のとおり整理しました。

- 図書館、博物館、公会堂の機能の再編・見直しを図りつつ未来型図書館に集約**  
→図書館の閲覧スペースや蔵書数、博物館の展示・収蔵内容、公会堂のホール機能などの課題については引き続き検討を進めます
- 未来型図書館の整備に伴い、教育研究センターの機能を芦城公園外に移転**  
→未来型図書館に掲げる機能との親和性が低いことから他の公共施設への機能移転の検討を進めます  
今後は、機能の具体化と併せて具体的な立地場所や施設規模、事業手法、駐車場整備の方針などについても検討を行い、年度内の事業方針とりまとめに向けて取り組んでいきます。



### リビングラボ

7月より、市民や事業者、大学、行政などが参画した対話と活動の場である「こまつリビングラボ」がスタートしました。これまで3回開催し、各回子どもから大人まで幅広い年齢層の50名を超える方々にご参加いただき、楽しく活動しています。

#### 第1回（7/30）～基本構想で描いた12の役割（機能）の具体化～

「役割×役割」（役割どうしの掛け算）による融合・連携のアイデアについてワークショップを開催しました。どのような施設・機能（ハード）、サービス・活動（ソフト）が必要になるかについて考え、新たな機能・サービスの創出や相乗効果・相互補完が期待できることを確認しました。



#### 第2回（8/20）～未来型図書館の予想図作成に向けた機能・サービスの具体化～

運営者視点での機能・サービスの体験シーンを作成。ワークショップに加え、機能・サービスの実証実験として、民間事業者の協力によるVR（仮想現実）技術の体験も実施しました。



#### 第3回（9/30）～予想図作成に向けた機能・サービスの具体化（ゾーニング）～

第1回、第2回のワークショップを踏まえて整理した必要と思われる機能・スペース・空間についてゾーニングを行いました。第2回に続いて、実証実験として、民間事業者の協力によるVR（仮想現実）技術やAI資料探索サービスの体験も実施しました。



11月には先進地への視察を行うほか、第4回は12月頃の開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております！



裏面もチェック！

## 図書館エディター

図書館エディターは、地域情報の編集・発信を担う人材育成を目的に令和4年度より開催しています。9月17日(日)に第2期図書館エディター養成講座がスタート。20代から70代まで幅広い年齢層の皆さんが参加されており、これから半年間にかけて図書館エディターを目指して学んでいきます。



講師は「図書館と地域をむすぶ協議会」チーフディレクター 太田 剛 氏

また、第1期の講座を修了した受講生を対象に図書館エディター「こまつオルワ's」を結成し、学んだスキルを活かし、現在、芦城公園周辺の施設や店舗への取材を通じたマップやコラムの作成に取り組んでいます。マップやコラムについては完成した後、市HPなどで掲載しますのでお楽しみに!



「こまつオルワ's」は現在11名で活動しています!



企画会議



インタビュー

## 子ども司書

昨年12月に結成した「こまつ子ども司書クラブ」は、学校や学年を超えて、図書館での展示コーナーづくりや読み聞かせ会などみんなで楽しく活動しています。7月には、11月からスタートする第2期子ども司書養成講座の受講生募集のため、地元ラジオ局でPRを行ったほか、8月には岐阜市の子ども司書のみなさんとの交流会を開催しました。一人ひとりの「おすすめ本」についてショート動画を作成し交流を深めました。



ラジオ局でPR



岐阜市との交流会



事業者の皆さまへ

## サウンディング調査

現在、民間ならではのユニークな発想やアイデアによる提案募集の窓口を市HP上に開設しています。また、10月には、県内での官民連携セミナーにて宮橋市長自ら未来型図書館づくりについてアピールします。11月には、事業者の皆さまとの個別ヒアリングなども実施していく予定です。官民対話(サウンディング調査)に関する情報は随時市HPにて掲載しますので是非、ご覧ください。

みんなで作る未来型図書館

## リレーエッセイ

第9回目は野末 俊比古 教授です!

青山学院大学 教育人間科学部 教育学科 教授

初めまして。私の専門は図書館情報学・教育情報学と呼ばれる分野です。縁あって「こまつリビングラボ」のお手伝いをするようになりました。未来型図書館づくりに関わられることをたいへん嬉しく思っています。

よいと言われる図書館は全国にいろいろありますが、それらを真似しても小松にとってよいものになるとは限りません。よいものをつくるには、小松のことを最もよくわかっている市民の皆さんが知恵を出し合うことが不可欠です。第1~3回のワークショップでは、老若男女を問わず、いろいろな立場の人が一市職員の皆さんもテーブルに加わって一熱心かつ真剣に考えていました。皆さんの様子を見て、小松の図書館がすばらしいものになると確信しています。なお、すべての回に市長が参加なさっていること(2回目は出張先の米国からオンライン参加!)も特筆すべきです。市の本気度が伝わってきます。

ここで私から問いかけを。「運動場」「ショッピングモール」「コワーキングスペース」「学び舎」などは、「何をするとところか」がすぐわかります。対して「図書館」は「図書」の「館」、つまり「何があるか」を表している。「何をするとところか」ははっきりしません。「読書」は確かに図書館ですることのひとつですが、すべてではありませんし、読書も手段に過ぎないのではないのでしょうか。「未来型」の図書館に「何をするとところか」がわかる名称をつけたら、どうなるでしょうか。皆さんのアイデアをぜひ聞かせてください!



野末 俊比古 教授

## お知らせ

10月15日(日)に芦城公園周辺の文化施設で「音さんぽ」を開催!詳しくは「空とこども絵本館」のHPをご覧ください。



note

Instagram

市HP

